

上佐野スギ・ブナ・イヌブナ希少個体群保護林

希少-84

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 山梨森林管理事務所
所在地	山梨県 南巨摩郡 南部町
面積	19.82ha
設定年	1982(S57)年
保護林の概要 (設定目的)	スギ、ブナ、イヌブナ等からなる上佐野地域を代表する高齢級の天然林であり、学術上貴重である。また、スギの精英樹(同じ土壌条件の地域に生育する同種・同齢木に比べて、形質が特に優れた成長をしている樹木)が保護されており、森林施業上の考証としても貴重である。このため、スギ、ブナ、イヌブナ等からなる群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2008年、2013年、2018年、2023年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、保護林内における代表的な針葉樹と広葉樹が生育する林分に計2か所の調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	前回調査では見られなかったツキノワグマによるスギへの樹皮剥ぎの被害が発生していたが、現段階では枯死にいたるような状況ではなく、スギ群落、イヌブナ群落ともに老齢の保護対象種が良好な状態で生育している。後継樹となる稚樹・幼樹の生育はほとんど見られず、林床植生調査においてスギの実生がわずかに見られた程度である。周囲の森林の被害の状況等も確認しながらモニタリングを継続していく必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。